

Opensignal、日本の 5G SA ネットワークにおける 最新ユーザー・エクスペリエンス分析結果を発表

～5G スタンドアローンは日本で期待に込めているのでしょうか？～

速度は最大 1.7 倍、遅延は 25%短縮。多くの指標で au がソフトバンクを上回る一方、
両社の「信頼性エクスペリエンス」は同率

Opensignal（本社：ロンドン）は、日本における 5G スタンドアローン（SA）ネットワークのユーザー・エクスペリエンスの最新分析結果を公開しました。本分析では、5G ノン・スタンドアローン（NSA）と比較した 5G SA の優位性を検証するとともに、オペレーター・レベルでは au とソフトバンクの 5G SA パフォーマンスを比較しました。

※NTT ドコモは 5G SA を開始していますが、主に高い周波数帯（sub-6 GHz および mmWave）の活用と展開規模が限定的であるため、オペレーター別比較からは除外しています（ただし、SA 対 NSA の集計比較には含めています）。
2025 年 7 月現在、楽天モバイルは仮想化環境で 5G SA テストを実施中で、商用展開は行っていません。

主要な分析結果

- **5G SA が、NSA を全面的に上回る**

本分析で評価したすべての指標で、5G SA は 5G NSA より優れたモバイル・エクスペリエンスを提供。

- **より速いスピード**

5G SA の平均ダウンロード・スピードは約 **1.7 倍**、平均アップロード・スピードは **1.5 倍**と、NSA 比で大幅に向上。

- **遅延の大幅短縮**

5G の UDP 遅延は SA ネットワークで**平均 25%短縮**。

ゲームやビデオ通話など応答性が重要なアプリで体感品質が向上。

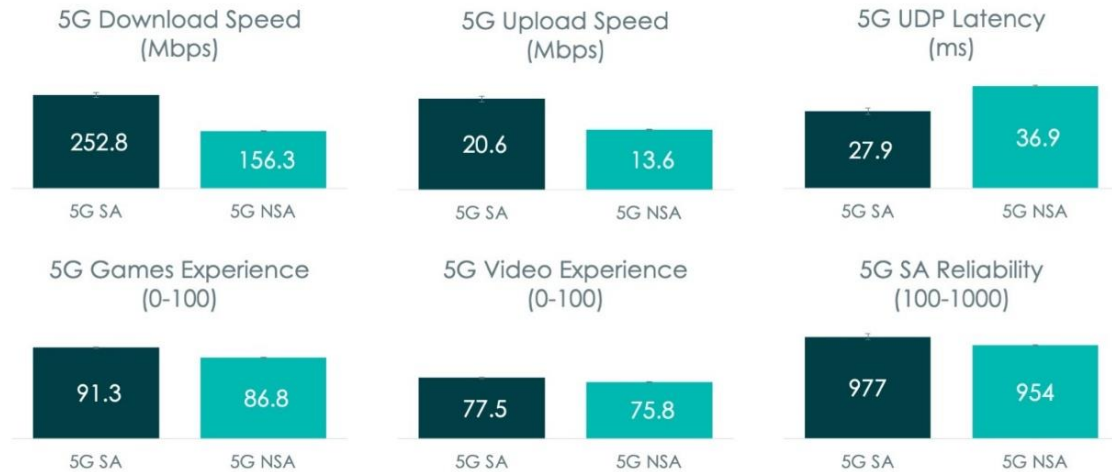
- **au が多くの 5G SA カテゴリで優位**

速度、遅延、ビデオ／ゲーム・エクスペリエンスで **au がソフトバンクを概ね上回る**結果。

一方で、「**5G SA 信頼性エクスペリエンス**」は両社が統計的に同率で、サービスの安定性に大差はなし。

日本での 5G SA 展開のインパクトを定量化

Our 5G users in Japan generally see a better mobile network experience on Standalone networks than on Non-Standalone



OPENSIGNAL

Data collection period April 1, 2025 — June 29, 2025. Japan scores include au, NTT Docomo and SoftBank | © OpenSignal Limited

分析のポイント

1) 日本市場全体：SA 化の効果を定量化

日本の主要 3 社（au、NTT ドコモ、ソフトバンク）における 5G SA のスコアを集計し、各社の 5G NSA と比較しました。結果、**スピードと遅延で SA が大幅に優位**。

- **ダウンロード・スピード**：SA は NSA の約 **1.7 倍**
- **アップロード・スピード**：SA は NSA の **1.5 倍**
- **UDP 遅延**：SA で **平均 25%短縮**

これにより、動画の初期読み込みやモバイルゲームの操作反応など、ユーザーが日常的に体感する品質が向上しました。OpenSignal の「信頼性エクスペリエンス」でも、SA は NSA 比で明確な改善が見られました。

5G SA Coverage in Japan

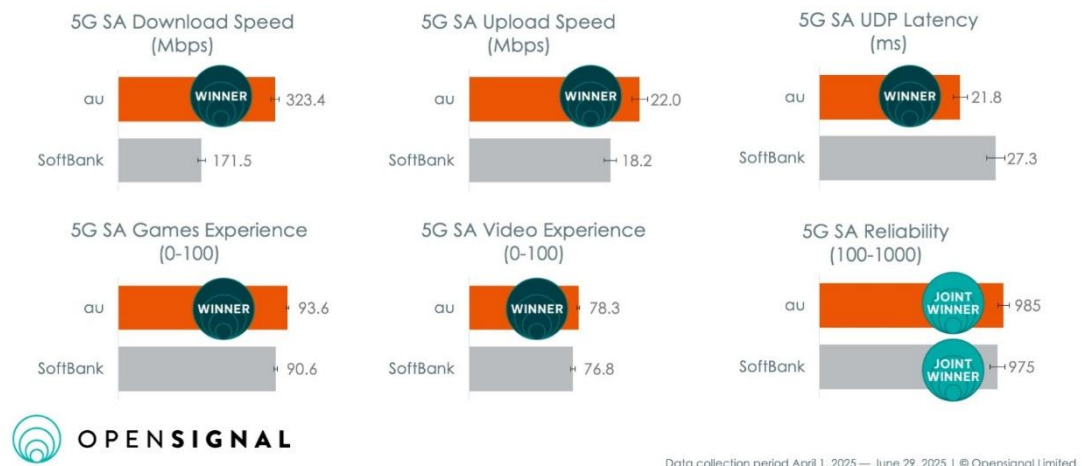


OPENSIGNAL

2) オペレーター別（5G SA）：au vs. ソフトバンク

- **au**：多くの指標でトップ。Sub-6GHz SA 基地局の戦略的展開が鍵となる。
- **ソフトバンク**：市場競争力を維持しつつも、主要指標の水準では au に一歩及ばず。
- **信頼性**：「5G SA 信頼性エクスペリエンス」は両社が統計的に同率で、サービスの安定性では拮抗。

Mobile users on au's 5G Standalone network enjoy faster speeds and lower latency than those using SoftBank's 5G SA services



「日本の 5G SA は、“より速く・より低遅延・より信頼できる”という約束に実データで応えています。消費者の体感品質だけでなく、エンタープライズ用途に求められる要件にも資する基盤が整いつつあります。」

ー ロバート・ウィジコウスキー（Opensignal プリンシパル・データ・アナリスト／レポート著者）

企業・公共分野への示唆：消費者エクスペリエンスを超えて

5G SA はネットワーク・スライシングなどの先進機能により、ミッションクリティカルな用途でも**高性能・レジリエンス・プログラマビリティ・省エネ性**を提供可能です。日本では **Open RAN** への移行を先導する動きが広がり、複数 MNO がオープンなテクノロジーを導入。多様なサプライヤー・エコシステムを育みつつコスト効率を高めるこの潮流は、**自動車・製造業・公共インフラ**を含む分野での**プライベート 5G SA** 活用を後押しし、日本の 5G SA インフラ展開を加速させると期待されます。

用語解説（簡易）

- **5G SA（スタンドアローン）**：4G コアに依存せず、5G 専用コアを用いる純粋な 5G 方式。低遅延・スライシング等の 5G 本来の機能を発揮しやすい。
- **5G NSA（ノン・スタンドアローン）**：4G コアに依存する 5G。初期展開に適し、広く普及。
- **UDP 遅延**：ネットワーク上での応答性を示す指標。ゲームやビデオ通話などの体感に直結。
- **信頼性エクスペリエンス**：ユーザーが基本的な接続タスクを問題なく完了できる確率を測る Opensignal 独自の評価。

参考資料

5G スタンドアロンは、日本で期待に込んでいるのでしょうか？

注：内容は、英語版の翻訳です。日本語との内容に不整合がある場合、英語版が優先されます。

Opensignal について

Opensignal は、消費者のネットワーク体感と意思決定に関する独立した知見を提供するグローバル・プロバイダーです。オペレーターは、Opensignal が提供するモバイルおよびブロードバンド・ネットワークに関する弊社独自のインサイトを活用することで、エグゼクティブ・レベルのスコアカードや公的検証から、特定レベルのエンジニアリング分析や消費者の意思決定に至るまで、利益の改善や、業界に勝ち残るためのソリューションを得ることができます。弊社の分析方法は独自のもので、高い透明性を担保し、すべてのオペレーターがネットワーク接続を継続的に改善できるよう支援します。弊社は米国、カナダ、英国に本社を擁し、南米とアジアに営業拠点を展開しています。

本件に関する問い合わせ先

Opensignal 広報担当

Rebecca Adewale

rebecca.adewale@opensignal.com

Opensignal 広報代理

担当：清水

opensignal@jspin.co.jp